

事業者向け児童発達支援自己評価表（公表）

公表：令和6年1月31日

アンケート期間：令和5年12月15日～令和6年1月12日

事業所名：フォレストキッズべっぷ宇治教室

スタッフ数4人 回答4人 割合100%

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	ガイドブックや保健所の指導に基づいたスペース配置を行い、定員規定に収まるよう管理している。
	2	職員の配置数は適切であるか	0	4	職員1名の逝去に伴う欠員あったが、2024年4月から常勤2名加入予定であり、改善される予定である。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	4	0	室内装飾などは抑え、特性のある子どもにも支持の通りやすい環境となっている。また、声の大きさをイラストで伝えるなど、特性のある子どもたちにも伝わりやすい方法を常に模索している。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	4	0	療育終了ごとに、使用教材・スペース共に消毒の実施を徹底。また、活動ごとに使用する部屋を区分しており、子どもたちに配慮した工夫を行っている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	・毎月、毎週の目標設定と達成度合いについて振り返りを行い、PDCAサイクルを実行できるよう各スタッフが意識している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	・保護者とは密に連絡を取り合い、LINE上でも気軽に相談できる体制を整えている。 ・アンケートを行うことで、個々の療育の見直しを実施している。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	・2022年12月開所のため、今年度より自己評価を実施している。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	4	今後の課題として、第三者評価を取り入れ業務改善に活かせるようにしたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	3	1	eラーニングによる学習支援または定期的実施研修への参加などを引き続き積極的に取り入れていく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	4	0	児発管と保育士が連携し、適切なアセスメントを行い支援計画を作成している。また、保護者のニーズも面談で聞き取り支援計画に反映させている。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	フォレストキッズのアセスメントシートを使用し、実施している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援（本人支援及び移行支援）」「家族支援」「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	4	0	通所での発達支援、保護者面談及びLINEでのやり取りによる家族支援、希望者には園訪問も行っており適切な支援を行っている。また、地域の方（民生委員など）に向けた情報発信も行っており、特性のある子どもたちへの理解・知識を深めていただけるよう努めている。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	4	0	子ども達1人ひとりに合わせた支援計画を作成しており、支援計画に準じる支援を行っている。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	児発管と保育士が連携をとることで、計画書に沿った支援をチームで実行できている。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	4	0	・毎朝本部とMTGを行うことで他事業所のプログラム内容を共有されることで新たな発見ができています。日々アップデートできる環境が整っている。 ・他事業所のアイデアや悩みからの気づきなどがあるため、新しい支援内容に活かすなどしている。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成しているか	4	0	順番を待つ事やSSTなど集団ならではのやり取りを工夫したり、集団療育中のアセスメントから苦手な部分を個別で行うなど、集団と個別を組み合わせてアプローチしている。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	4	0	毎日の支援内容の打ち合わせや分担を考え、話し合っている。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	・支援終了後から勤務終了まで時間が短いため、その日ではなく翌日に実施している。 ・共有すべきことはその都度共有している。

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	・支援記録に記録している。
	20	定期的なモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	3カ月・半年とモニタリングを行う。支援計画の更新時には、モニタリングにプラスして保護者面談を行い、保護者の意向も取り上げている。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか			対象外
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	4	0	市役所や保健師さんをはじめ、各省庁と連携をとっている。関係先からの見学も積極的に受け入れ、支援を必要としている方へスムーズに提供できるように努めている。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか			対象外
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			対象外
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	0	近隣の園へ訪問を行い、スタッフ向けにパンフレットの配布や療育内容の説明を行っている。保護者からの希望があれば、園訪問も積極的に対応し相互理解を図っている。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	4	0	今後は小学校、特別支援学校との関係構築を行い、子どもたち親御さんも安心して相談、進学ができる体制を整える予定。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	グループ内の児童発達支援事業所と毎日MTGを通じて情報共有を行っている。また毎月1回専門家(顧問)の巡回とフィードバックをもらっている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	0	4	相談・園訪問など児発管の関わりはあるが、子どもの交流はまだできていない。園との連携を取っていきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	0	4	現在は参加していない。今後の検討材料
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	送迎時のフィードバックに加え、LINEでの現状報告や課題などを伝えている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	1	3	現在実施できていないが、年明けから開始を検討している。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	契約時に読み合わせを行い、疑問点などがいないか確認している。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	4	0	ガイドラインに基づいた支援内容と計画書を作成しており、計画書は保護者の説明の上、同意を得て捺印いただいている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	対面、LINEいずれかの方法で相談には適宜対応している。希望に応じて、園訪問を行い、保護者支援を積極的に行っている。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	0	参観・懇談会を実施し適宜設けている。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	対面、LINEいずれかの方法で相談には適宜対応している。希望に応じて、園訪問を行い、保護者支援を積極的に行っている。

非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	保護者の許可を得たうえで、支援中の写真を掲載しオンライン上で閲覧・購入が出来る仕組みを導入していることで、保護者への情報発信を図っている。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	4	0	鍵付きキャビネットに保存し、施錠管理している。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	・連絡方法は保護者の希望に合わせて対応しており、スムーズな意思疎通や情報提供を行っている。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	4	法人全体でのイベントがある際は、事業所としても参加し地域の市民に向けてパンフレットの配布や子どもたちに向けてのワークショップを企画するなど地域に開かれた運営を行っている。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	4	0	各マニュアルを整備し、職員間での共有をしている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	毎月定期的にも実施。職員も色々な担当に別れいつでも避難できるようにしている。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	4	0	服薬てんかん発作のある場合、事前に確認・職員の緊急時対応などを確認している。協力医療機関にも情報を共有し、適切な対応が出来るように事前準備をしている。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	0	4	飲食の提供をしていないが、フェイスシートでのアレルギーや持病の確認を実施している。万が一症状が出た場合には、適切な処置対応が出来るように協力医療機関にも共有しておく必要がある。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	ヒヤリハット事例を作成し会議を行っている。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	虐待防止委員会を実施し、事例により虐待に当たるかどうかの検討会をしている。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	4	0	身体拘束については、【身体拘束・行動抑制について、切迫性・非代替性・一時性の3要件が認められる場合に限る】と、個支にも明記し、行動制御など屋も負えない場合に実施する。	
<p>○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。</p>					